

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	I Tryジュニア武蔵浦和			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ～ 令和7年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ～ 令和7年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お出かけイベント、調理実習、地域との交流など、様々な体験ができるようにしている。	園児でも参加しやすいように、近場のお出かけ先を公共交通機関を利用し、社会経験を増やしている。 手話体験、陶芸体験など、外部の方にも来ていただき、様々な体験ができるよう工夫している。	イベントの後、子供たち自身が振り返りを行い、次につなげる活動を検討していきたい。
2	保護者との連絡を密にしている。	お迎え時に、保護者にその日の様子を少しでも伝えられるようにしている。また困りごとや何かトラブル等があった際に、すぐにLINEで連絡を密に取り合っている。	年1回の保護者会だけでなく、定期的に保護者同士がコミュニケーションとれる機会を増やしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭い。	放課後デイサービスのお子さんと同じ空間にいる時もあるので、活動する内容が制限されてしまう。	曜日や時間帯で年齢や特性に合わせた支援を考えていく。 パーティションを使用していく。
2	課題に対しての具体的な支援が分かりづらい。	職員間で課題共有ができておらず、支援の方向性が見えていない。	活動プログラムが何の課題のために行っているのか、5領域を意識したプログラム表を作成していく。
3			